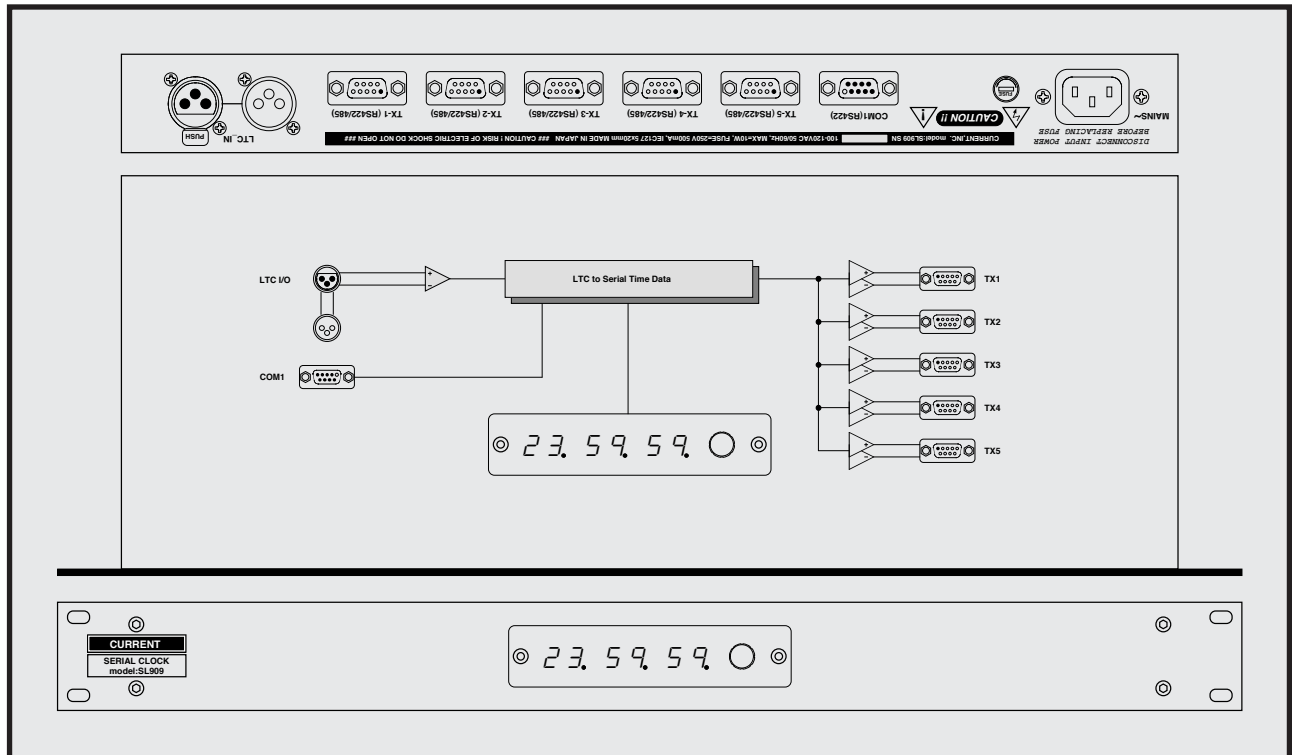


# CURRENT PRODUCTS model:SL909 SERIAL CLOCK



- LTCからシリアル時刻信号を生成
- オート自走モード
- 29.97、30フレームレート対応
- SEIKO社 TMC-100J コンパチブル
- 子時計としても動作 ● 19インチ1Uサイズ

SL909はLTCからSEIKO社の放送局用親時計TMC-100Jが出力するシリアル時刻データと同様の信号を出力するインターフェースです。自走モードを備えていますのでLTCが1秒以上とぎれたり入力されていない場合には自動的に切り替わります。

#### ◆入出力

XLRバランス仕様の各コネクタは直結されていますのでどちらからでも入力できます。LTC入力レベルは-20dBu~+15dBuで、フレームレートは29.97及び30に対応します。

#### ◆出力データ

SEIKO社のTMC-100Jと同様のシリアル時刻信号を出力します。通信プロトコルは2400bps、N81で、電気的フォーマットはRS422及びRS485に適合します。また、LEITCH社CSD-5300/3901のLTC(LEITCH-12M)を入力した場合には年月日及びそれを元に計算した曜日も出力します。自走モードでは年月日及び曜日は2004年9月1日水曜日で固定です。同期モードから自走モードに切り替わった場合には直前のデータを保持しますが24時をすぎても更新は行われません。

#### ◆表示

フロントパネルには送信する時刻、または受信した時刻を表示します。また、1sのデジタルポイントはLTCにロックしている場合に点灯しますが、LTCが入力されていない自走モード状態では消灯します。

#### ◆調整

自走モードでフロントパネル右上の時刻設定用ノブを押すと設定モードに入ります。ノブを回して時分秒を順に設定します。

#### ◆その他

COM1ポートにシリアル時刻データを入力すれば子時計として使用することもできます。また、異なる形状、表示方式などのタイプも製作いたしますのでお問い合わせ下さい。

TX1-5 DSUB9-F		COM1 DSUB9-F	
01 FG	06 GND	01 FG	06 RX GND
02	07	02 RX-	07 RX+
03 TX+	08 TX-	03 TX+	08 TX-
04 TX GND	09 FG	04 TX GND	09 FG
05		05	



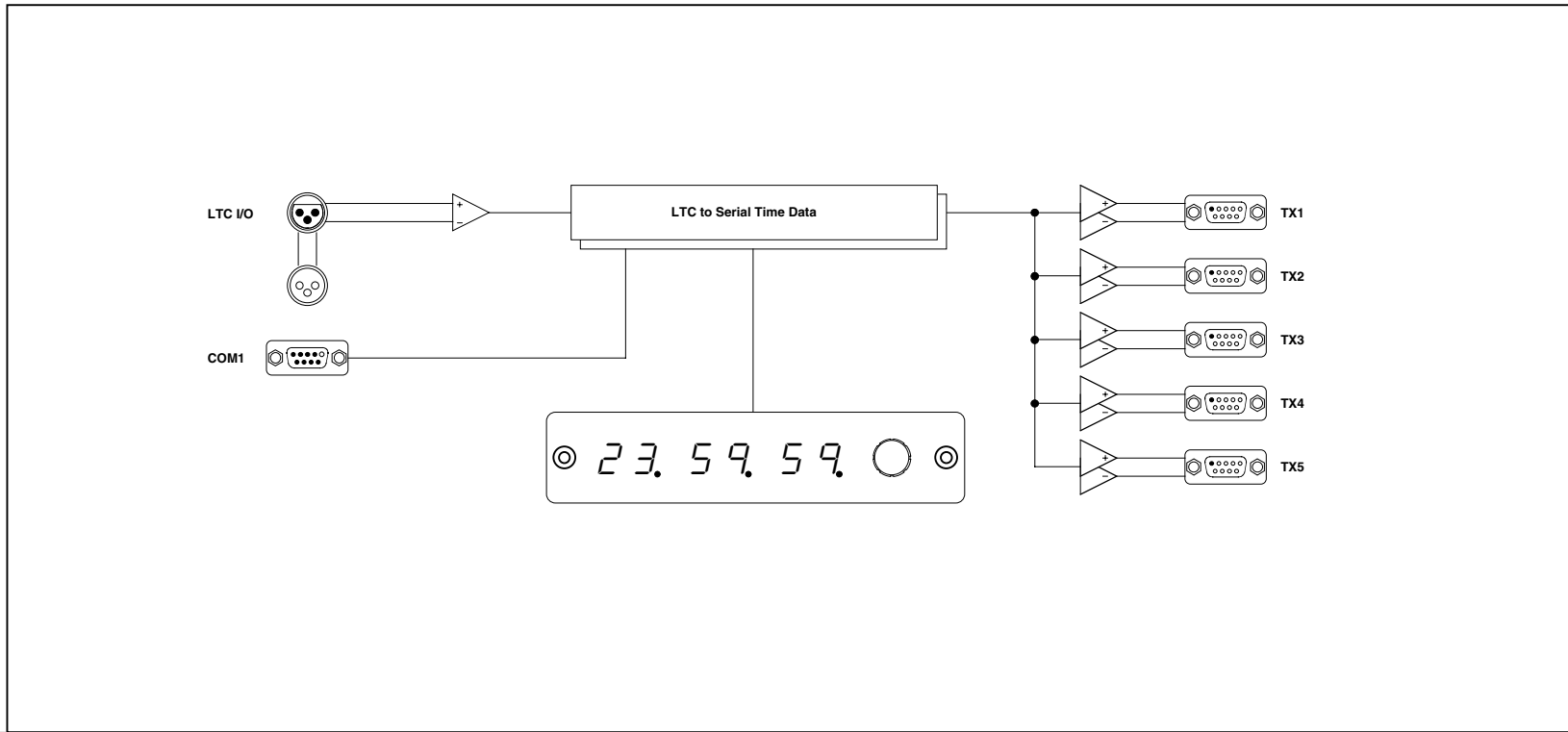
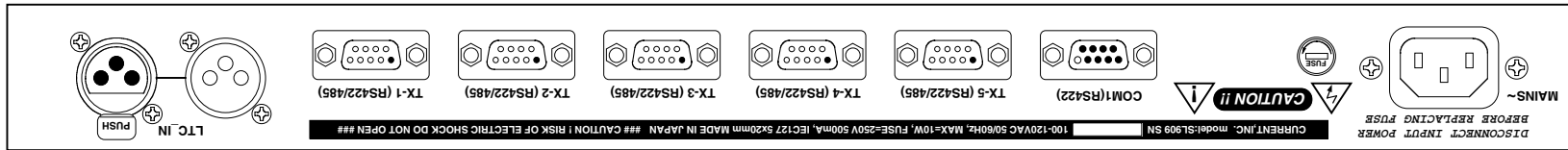
## SPECIFICATIONS

- ◆INPUT: XLR3-F, 20kΩ
- ◆THRU OUTPUT: XLR3-M
- ◆FRAME RATE: 29.97, 30Hz
- ◆SMPTE RATE: x1
- ◆INPUT LEVEL: -20 to +15dBu
- ◆TX1-5: RS485, Dsub9-M (#4-40)
- ◆COM1: RS422, Dsub9-F (#40-40)
- ◆MAINS: 100VAC 50/60Hz MAX10W
- ◆DIMENSIONS: 482Wx44Hx303D, 4kg

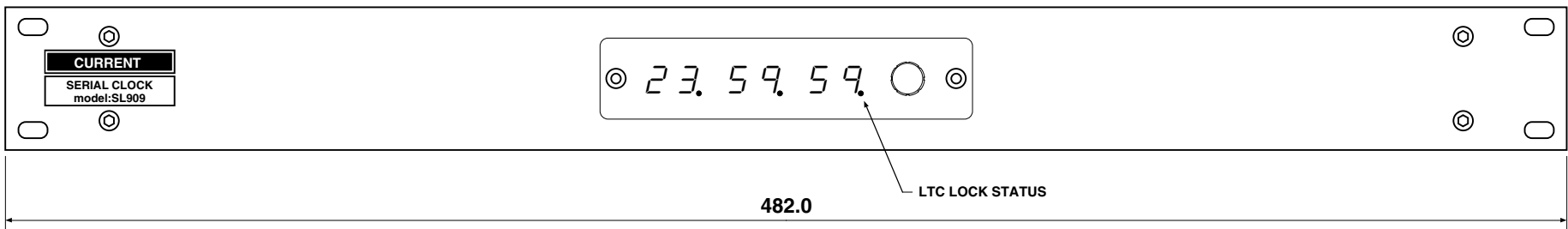
御注文型番: SL909  
標準価格: ¥640,000 (税別)  
付属品: ACケーブル

CURRENT,INC. 2-26-11, AKATSUTSUMI, SETAGAYA-KU, TOKYO, 156-0044 JAPAN  
株式会社カレント 〒156-0044 東京都世田谷区赤堤2-26-11 TEL:81-3-3321-9559 FAX:81-3-5376-2735

The specifications are subject to change without notice. 記載内容は予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。



302.6



(c)CURRENT, INC.	SL909 SERIAL CLOCK	Aug.2004
H.ICHIIHASHI	PANEL DIAGRAM	SL909-D

# SL909 CONNECTOR PIN LIST

## "TX1-5" D15-M(#4-40) Connector

Ribbon	Hard	Signal name	Designation	Active
1	1	FG	GND	
2	6	GND	GND	
3	2	NC	NONE CONNECTION	
4	7	NC	NONE CONNECTION	
5	3	TX+	TX+	
6	8	TX-	TX-	
7	4	TX GND	GND	
8	9	FG	GND	
9	5			

注意！ Dサブコネクタの接続はHARDピン番号で接続してください。取付は#4-40インチビスです。

CAUTION! D-Connector for wiring refer toHard pin number Description. Mounting screw for D-connector use #4-40 size.

## "COM1" D15-F(#4-40) Connector

Ribbon	Hard	Signal name	Designation	Active
1	1	FG	GND	
2	6	RX-G	GND	+5V
3	2	RX-	RX-	
4	7	RX+	RX+	
5	3	TX+	TX+	
6	8	TX-	TX-	
7	4	TX GND	GND	
8	9	FG	GND	
9	5	HOUR	HOUR PULSE (Open Collector)	

注意！ Dサブコネクタの接続はHARDピン番号で接続してください。取付は#4-40インチビスです。

CAUTION! D-Connector for wiring refer toHard pin number Description. Mounting screw for D-connector use #4-40 size.

# SERIAL CLOCK SL909

## LTC入出力

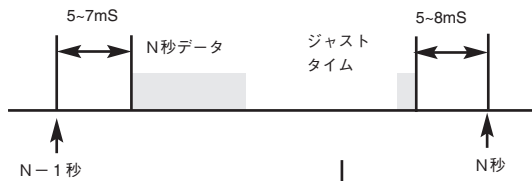
インピーダンスは11kΩのバランスで、対応入力レベルは-20dBu~+15dBuです。入出力コネクタは直結されているのでどちらでも入力として使用できます。

## COM1ポート

テスト用のRS-422ポートです。出力をターミナルに接続するとシリアル出力のデータをモニター出来ます。また、シリアル時刻信号を入力するとフロントパネルに表示します。

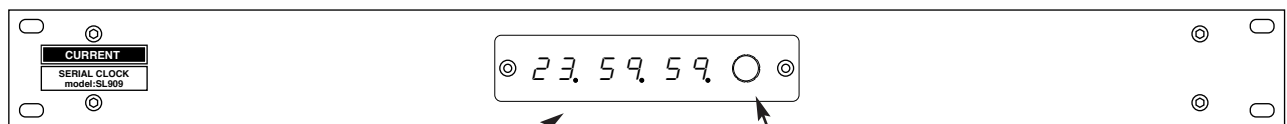
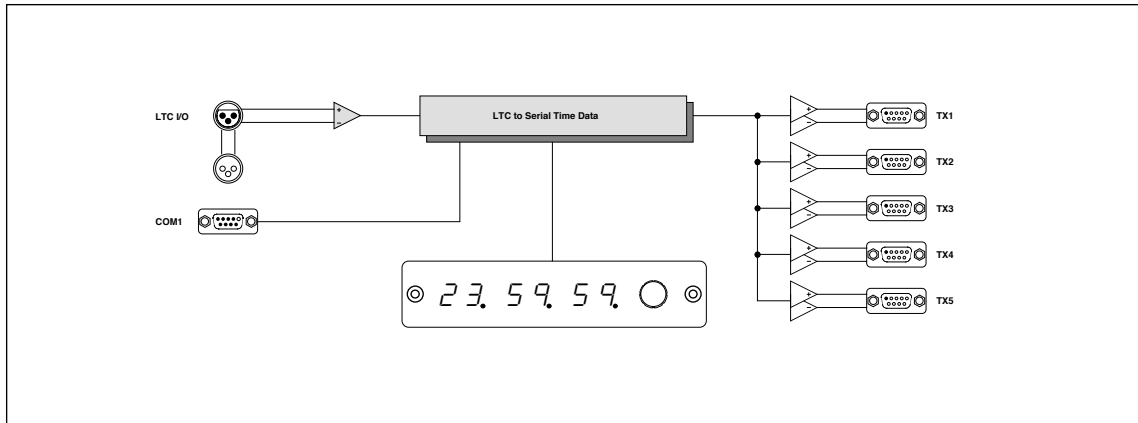
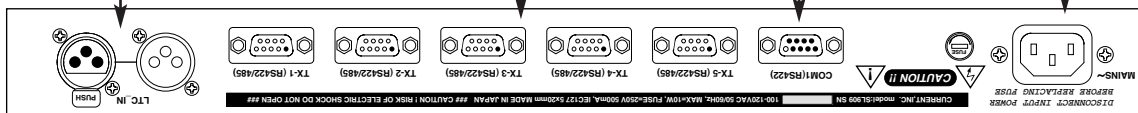
## シリアル出力1-5

SEIKO社のTMC-100Jと同様のシリアル時刻信号を出力します。通信プロトコルは2400bps、N81で、電気的フォーマットはRS485です。また、LEITCH CSD-5300のLTCを入力した場合には年月日及びそれを元に計算した曜日も出力します。



## AC入力

100V、50/60Hzで使用してください。  
ヒューズは250V 500mAの5x20mmタイプを使用して下さい。



## 時刻表示

LTC同期時及び自走モードでの時刻を表示します。LTCにロックしている場合には1秒桁の右下のドットが点灯します。LTCが入力されない場合には自動的に自走モードに切り替わります。

## 時刻セット

自走モードでフロントパネルの時刻設定用ノブを押すと点滅して設定モードに入ります。ノブを回して時分秒を順番に設定します。各桁はノブを押すと確定して次の桁に移ります。自走モードでは年月日及び曜日は2004年9月1日水曜日で固定です。同期モードから自走モードに切り替わった場合には直前のデータを保持しますが、24時をすぎても更新は行われません。